

第18 交通事故事件捜査

1 交通特殊事件

交通事故を偽装した保険金詐欺事件、運転免許証の不正取得事件、文書の偽変造事件及び事業活動から派生する自動車の使用者の義務違反事件等交通社会に潜在する悪質知能犯罪の検挙を重点とした捜査を推進した。

その結果は、次表のとおりである。

(1) 交通特殊事件等の検挙状況

罪 種 別	令和4年
交通保険金詐欺事件	3件
自動車の使用者の義務違反事件	5件
犯人隠避事件	14件
文書偽(変)造事件	3件
その他	270件
計	295件

注 その他(道路交通法違反教唆等事件・運転免許証不正取得事件など)

(2) 主要事件の検挙事例

○保険代理店従業員を首魁とする自動車保険(共済)金詐欺事件

所 属	北九州地区3所属及び交通機動隊並びに交通捜査課
事件の概要	損害保険代理店の従業員を首魁とする北九州地区の詐欺グループが偽装交通事故を作出して、自動車保険(共済)金約1,500万円をだまし取った5件の保険金(共済)詐欺及び整骨院経営者による施術日数の水増しを手段とした保険金詐欺事件を検挙した。
罪 名 等	詐欺
被疑者数等	被疑者 25人

(注:捜査期間 R4. 9. 5~R5. 4. 18)

○大手運送会社による名義貸しを伴う白トラ事件

所 属	直方警察署及び交通捜査課
事件の概要	一般貨物自動車運送事業許可を有する運送会社が、無許可で同事業を経営する個人3名に対し、名義を貸し与えて白トラ経営させた貨物自動車運送事業法違反(名義貸し・無許可経営)及び個人事業主が、運送に使用する自家用トラックを営業用として不正登録した公正証書原本不実記録・同供用事件を検挙した。
罪 名 等	貨物自動車運送事業法違反(名義貸し・無許可一般貨物自動車運送事業経営)等
被疑者数等	被疑者 4人 被疑法人 2社

第18 交通事故事件捜査

2 ひき逃げ・不申告事件

注1 「ひき逃げ事件」とは、道路交通法第72条第1項前段の救護措置義務違反に係る交通事故をいう。

2 「不申告事件」とは、道路交通法第72条第1項後段の報告義務違反に係る交通事故をいう。

(1) ひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況等の年別推移

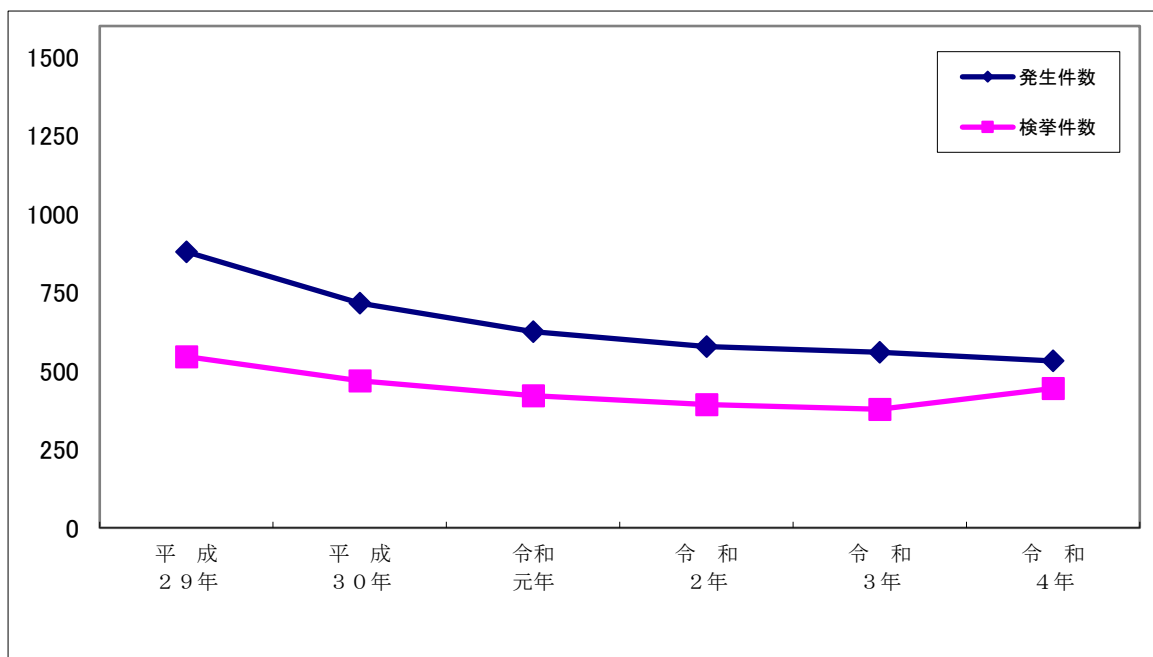
区 分	発生件数(件)			死亡ひき逃げ件数(件)			検挙件数(件)		
		対全事故 比率	指数		対全死亡 事故比率	指数		検挙率	指数
平成元年	1,216 (400)	3.4%	100	16	4.3%	100	1,062 (246)	87.3% (61.5%)	100
2年	1,032 (349)	3.1%	85	21	5.4%	131	882 (199)	85.5% (57.0%)	83
3年	1,025 (376)	3.0%	84	15	4.0%	94	879 (230)	85.8% (61.2%)	83
4年	900 (415)	2.5%	74	18	4.8%	113	729 (268)	81.0% (64.6%)	69
5年	734 (401)	2.0%	60	14	4.2%	88	533 (220)	72.6% (54.9%)	50
6年	727 (408)	1.9%	60	24	6.2%	150	521 (235)	71.7% (57.6%)	49
7年	675 (358)	1.7%	56	18	4.8%	113	488 (202)	72.3% (56.4%)	46
8年	803 (476)	1.9%	66	23	6.6%	144	474 (217)	59.0% (45.6%)	45
9年	877 (532)	1.9%	72	17	5.1%	106	494 (215)	56.3% (40.4%)	47
10年	1,073 (686)	2.2%	88	18	5.6%	113	500 (239)	46.6% (34.8%)	47
11年	895 (490)	1.8%	74	16	5.2%	100	481 (206)	53.7% (42.0%)	45
12年	976 (492)	1.9%	80	12	4.1%	75	532 (216)	54.5% (43.9%)	50
13年	942 (482)	1.9%	77	15	4.7%	94	508 (162)	53.9% (33.6%)	48
14年	951 (576)	1.9%	78	15	4.9%	94	544 (229)	57.2% (39.8%)	51
15年	1,493 (997)	2.9%	123	13	4.3%	81	587 (292)	39.3% (29.3%)	55
16年	1,694 (1,155)	3.3%	139	12	5.0%	75	544 (269)	32.1% (23.3%)	51
17年	1,976 (1,251)	3.8%	163	11	4.6%	69	691 (372)	35.0% (29.7%)	65
18年	1,860 (1,095)	3.7%	153	14	6.0%	88	741 (348)	39.8% (31.8%)	70
19年	1,427 (677)	3.1%	117	11	5.6%	69	697 (237)	48.8% (35.0%)	66
20年	1,479 (564)	3.3%	122	5	2.6%	31	756 (197)	51.1% (34.9%)	71
21年	1,267 (320)	2.9%	104	7	3.7%	44	595 (129)	47.0% (40.3%)	56
22年	1,151 (292)	2.6%	95	6	3.7%	38	589 (123)	51.2% (42.1%)	55
23年	1,153 (258)	2.7%	95	3	2.0%	19	548 (117)	47.5% (45.3%)	52
24年	1,068 (240)	2.5%	88	5	3.0%	31	489 (121)	45.8% (50.4%)	46
25年	1,067 (241)	2.4%	88	6	2.5%	38	538 (150)	50.4% (62.2%)	51
26年	982 (186)	2.4%	81	0	0.0%	0	492 (103)	50.1% (55.4%)	46
27年	913 (312)	2.3%	75	5	3.4%	31	494 (160)	54.1% (51.3%)	47
28年	890 (350)	2.4%	73	6	4.4%	38	490 (175)	55.1% (50.0%)	46
29年	880 (326)	2.5%	72	5	3.6%	31	546 (193)	62.0% (59.2%)	51
30年	716 (255)	2.3%	59	8	6.0%	50	469 (178)	65.5% (69.8%)	44
令和元年	625 (236)	2.3%	51	4	4.3%	25	421 (165)	67.4% (69.9%)	40
令和2年	578 (262)	2.7%	48	2	2.2%	13	393 (179)	68.0% (68.3%)	37
令和3年	560 (230)	2.8%	46	5	5.1%	31	378 (159)	67.5% (69.1%)	36
令和4年	532 (241)	2.7%	44	1	1.4%	6	445 (189)	83.6% (78.4%)	42

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成元年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(2) 過去5年のひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況



区 分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数	880	716	625	578	560	532
	(326)	(255)	(236)	(262)	(230)	(241)
	指数	100	81	71	66	64
死亡ひき逃げ件数	5	8	4	2	5	1
対全事故比率	2.5%	2.3%	2.3%	2.7%	2.8%	2.7%
検挙件数	546	469	421	393	378	445
	(193)	(178)	(165)	(179)	(159)	(189)
検挙率	62.0%	65.5%	67.4%	68.0%	67.5%	83.6%
	(59.2%)	(69.8%)	(69.9%)	(68.3%)	(69.1%)	(78.4%)

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成29年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(3) 令和4年中のひき逃げ・不申告事件

ア ひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

ひき逃げ・不申告事件の発生件数は532件で、前年に比べ28件(5.0%)減少した。
 検挙件数は445件で、検挙率は、83.6%と前年に比べ16.1ポイント増加した。

○ 令和4年中のひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

区 分	発生件数	検挙件数	検挙率
死亡事故	1 (1)	0 (0)	0.0% (0.0%)
重傷事故	19 (13)	17 (12)	89.5% (92.3%)
軽傷事故	512 (227)	428 (177)	83.6% (78.0%)
合 計	532 (241)	445 (189)	83.6% (78.4%)

注 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

○ ひき逃げ・不申告事件の前年比

区 分	発 生			検 挙			
	令和4年	前年比	増減率	令和4年	検挙率	前年比 (ポイント)	
ひき逃げ	死亡	1	-4	-80.0%	0	0.0%	-120.0
	重傷	13	±0	±0.0%	12	92.3%	±0.0
	軽傷	227	+15	+7.1%	177	78.0%	+11.5
	計	241	+11	+4.8%	189	78.4%	+9.3
不申告	死亡	0	-1	-100.0%	0	0.0%	-100.0
	重傷	6	±0	±0.0%	5	83.3%	±0.0
	軽傷	285	-38	-11.8%	251	88.1%	+22.1
	計	291	-39	-11.8%	256	88.0%	+21.6
合 計	死亡	1	-5	-83.3%	0	0.0%	-116.7
	重傷	19	±0	±0.0%	17	89.5%	±0.0
	軽傷	512	-23	-4.3%	428	83.6%	+17.4
	計	532	-28	-5.0%	445	83.6%	+16.1

第18 交通事故事件捜査

イ 令和4年中のひき逃げ事件

注 構成率については四捨五入のため、各項目の合計は必ずしも100%とは限らない。

(ア) ひき逃げ事件の発生状況

○ 時間別発生状況

区 分	午 前						午 後						計
	00～ 02時	02～ 04時	04～ 06時	06～ 08時	08～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	
発生件数													
合 計	2	6	9	32	31	16	21	23	31	36	23	11	241
構 成 率	0.8%	2.5%	3.7%	13.3%	12.9%	6.6%	8.7%	9.5%	12.9%	14.9%	9.5%	4.6%	100.0%
内 訳	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	重 傷	0	1	3	1	0	1	1	2	1	2	0	13
	軽 傷	2	5	6	31	31	15	20	21	30	35	20	11

(イ) ひき逃げ事件検挙の端緒等

ひき逃げ事件検挙の端緒は、「検索」などの警察活動によるものが43件(22.8%)、「目撃者の通報」などの民間協力によるものが67件(35.4%)であった。
ひき逃げ事件の逃走動機は、「飲酒運転であった」「被害者の被害が大したことないと思った」「事故を起こしたことに半信半疑であった」の順であった。

○ 検挙の端緒別状況

端緒別 区分	警 察 活 動						民 間 協 力					合 計
	追 跡・ 検問・ 職 質	聞 き 込 み	検 査 索	現 場 の 遺 留 品 等	そ の 他	小 計	目 撃 者 の 通 報	目 撃 者 等 の 追 跡	被 害 者 等 の 申 告	そ の 他	小 計	
件 数	16	7	43	6	2	74	67	7	6	35	115	189
構 成 率	8.5%	3.7%	22.8%	3.2%	1.1%	39.2%	35.4%	3.7%	3.2%	18.5%	60.8%	100.0%

注 警察活動の「その他」とは、防犯カメラ映像解析など、民間協力の「その他」とは防犯カメラ映像の提供など。

○ ひき逃げ事件の逃走動機

・飲酒運転であったから	11.1%
・被害者の被害が大したことないと思ったから	11.1%
・事故を起こしたことに半信半疑であった	10.6%
・逃げてしまえば分からないと思ったから	10.1%
・その他	57.1%

注 「その他」とは、無免許運転中であつた、事故をおこしたことが恐ろしくなつたから、ひき逃げ・あて逃げの事実否認など。

